

総制作費約 1,000 万円 世界初 ガラスで出来た演奏用クラシックギター
東日本大震災を乗り越え、ついに完成
「ガラスのギター」
～人気ギタリストの村治佳織さんがガラスのギターを奏でる～

HARIO 株式会社

耐熱ガラスのトップメーカー、HARIO株式会社(代表取締役社長:柴田保弘、本社:東京都中央区)は、東日本大震災の復興のシンボルとして、この程「ガラスのギター」を完成させました。

日本最大手の耐熱ガラスメーカーとして歩んできたHARIOは、今年9月にハリオグラス株式会社からHARIO株式会社へ社名変更。「耐熱ガラスにこだわるが、とらわれない」をコンセプトに総合家庭用品メーカーに生まれ変わりました。また、2011年の東日本大震災により被害を受け、稼働を休止していた茨城県古河にあるHARIO工場のガラス窯が復帰したことを受け、これを記念し「ガラスのギター」を製作することとなりました。

“ハリオグラス”時代より、ガラス製品の可能性、芸術性を高める一つの方向性として様々な芸術分野とのコラボレーションを行い、ガラスの楽器を発表してまいり、今作は2010年以来2年ぶり、12作目となりました。

今回初披露となる「ガラスのギター」は、総制作費約1,000万円、10名の熟練した職人が作り上げた、世界初のガラスで出来た演奏用クラシックギターとなります。ガラスのギターは、外形寸法は約1,000mm×280mm(最大幅部)、厚さは2.5～3.0mm、全重量約3.7kgとなっており、近年のクラシックギターより、少し小さめのサイズで、19世紀のヨーロッパの原型をもとにしています。装飾には、手書きのペイントを施し、繊細でありながら、ガラスの美しさを引き出したデザインとなっています。

2011年9月からガラスの成形に入り、アクリルのネック部分や音の調整をしながら、今年の10月に完成するまで、約1年間を要し、ついに完成にいたしました。本ギターの音色の監修には、人気ギタリストの村治佳織さんにも監修頂き、木のギターとは一味違う、新しい音色が楽しめるギターに仕上がりました。

※ 「ガラスのギター」に関する詳細・製作工程は別紙をご参照下さい。

＜本件の取材に関するお問い合わせ先＞

HARIO 株式会社 企画広報部 広報担当 辻本真理

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3

TEL:03-5614-2110 FAX:03-5614-2126 MAIL mari@hario.com

※記事中的お問い合わせ番号、表記は右記にて→☎ 0120-398-207

【ガラスのギター詳細】

重量	約 3.7kg
外形寸法	約 1,000mm × 280mm(最大幅部)
厚さ	2.5～3.0mm
材質	ボディ:耐熱ガラス ネック:アクリル
制作費	約 1,000 万円
スタッフ	10 名
制作期間	2011 年 9 月～2012 年 10 月 約 1 年



【HARIO 株式会社 会社概要】

本社: 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3

工場: 〒306-0126 茨城県古河市諸川 1371

資本金: 4 億 5000 万円

代表取締役社長: 柴田保弘

創業: 1921 年 10 月

設立: 2012 年 9 月

事業内容: 耐熱ガラス食器・家庭用品の企画・製造・販売・理化学・耐熱食器用ガラス素材、自動車用ヘッドレンズ、各種工業用・医療用ガラス素材の開発・製造

【奏者プロフィール】

村治佳織(むらじ かおり)

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、15歳でビクターエンタテインメント株式会社より CD デビューを飾る。93 年津田ホールにてデビュー・リサイタルを開催。フランス留学から帰国後は、NHK 交響 楽団をはじめとする国内主要オーケストラとも共演を重ね、幅広い層からの支持 を受ける。2003 年英国の名門クラシックレーベル DECCA と日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。2010 年、2011 年にもソロアルバムをリリース。2012 年 10 月には DECCA 初のベスト盤「リ・サイクル」をリリース。12 年 4 月より半年間 NHK-E テレ「テレビでフランス語」のナビゲーターを務めた。また、現在は J-WAVE(FM)「The Players」のマンスリー・ナビゲーターを担当している。雑誌でのエッセイ連載や、新聞へ書評を寄稿するなど、幅広い分野で活躍している。受賞歴も多く、第 5 回出光音楽賞、村松賞、第 9 回ホテルオークラ音楽賞を受賞。世界で最も注目をされているギタリストの 1 人。

